

## 小松市民病院 information

### 基本方針

- 患者の人権と権利、そして思いを尊重します。
- 安全で安心な急性期医療・がん医療・予防医療を推進します。
- 救急医療の充実に努めます。
- 地域の医療・介護・保健機関とつながる医療を行います。
- 職員の働きがいがある職場を目指します。

### 概要

昭和25年に東町に「市立小松病院」として開設されました。当時は診療科5科、病床数26床でしたが、現在では28診療科、340床を有する南加賀の医療の要となっています。

#### 病床数

340床（一般300床、精神26床、結核10床、感染症4床）

### 令和5年度実績

年間救急受診患者数	9,449人
年間救急搬送数	3,717人
年間入院患者数	79,613人
年間外来患者数	147,046人

### これからに向けて

現在、本館建て替えに向けて基本構想の策定に取り組んでいます。

- ・医療機能
- ・診療科などの構成
- ・病床数
- ・施設の規模
- ・スケジュール

などについて策定委員会で検討を進めています。

## 市民の安全・安心を支える救急医療

24時間365日救急医療体制の充実に努め、救急隊からの救急要請や他院からの転院搬送には可能な限り応じることを基本姿勢としています。各専門診療科が協力して救急患者に対応し、南加賀地区における「救急医療のとりで」として、地域のことを第一に考えた医療を目指しています。

### 1 受け入れ態勢

夜間・休日は内科・外科系の当直医2人が担当しています。各診療科が24時間呼び出しにかけられるように待機勤務体制をとっています。



### 2 救急の特徴

脳梗塞や脳出血、心筋梗塞などにはそれぞれ専門医が緊急治療・手術を行います。また、骨折や頭蓋内出血、内臓損傷などの外傷にも対応しており、多発外傷では複数の診療科が協力します。

## 災害拠点病院としての役割

災害時に救急医療を継続して行い、被災者の受け入れや搬送ができる、地域の医療救護活動の中心的な役割を担っています。能登半島地震においては、DMAT(災害派遣医療チーム)、SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)、能登地区からの患者の受け入れ、避難所支援などを行いました。



毎年行われる院内の災害訓練も多職種が参加し、全職員が災害時の役割を学び、いざという時に備えています。



能登半島地震では、航空自衛隊小松基地から各医療機関への搬送手配を担当するSCU活動に努めました。また、被災地に院内DMATをはじめ多くの職員を派遣しました。



### 特集

# 地域と「共に歩む」、 南加賀の拠点病院

問い合わせ

市民病院 ☎22・7111

あなたはもしもの時に頼れる病院がありますか？「共に歩む」を理念に市民の命を守る、小松市民病院の取り組みを紹介します。

小松市民病院は南加賀の中核病院として、また地域医療支援病院として、地域の医療機関と共に安全・安心の医療を提供できるよう努めています。

普段は身近ですぐに相談できるかかりつけ医で治療を受けながら、急な体調の変化や難しい病気になった場合は地域医療支援病院が連携して治療を行います。容態に応じて最適なケアをする「医療の機能分化」は多様化する医療ニーズに応える上でも非常に大切です。



### 地域医療支援病院とは

紹介患者への医療の提供や、救急医療、かかりつけ医などへの支援を行う病院です。患者紹介率など一定の要件を満たす病院に対して、都道府県知事が承認しています。

### 小松市民病院の役割

- 急性期・がん診療・手術など高度医療の充実
- 小児・周産期・感染症などの政策医療の継続、強化
- 災害拠点病院としての機能強化

## 病院長から市民の皆さまへ



もしもの時に頼れる場所がありますか？

市民病院は、地域の皆さんと力を合わせながら、安心して暮らせる毎日を共に築くため、さまざまな医療に取り組んでいます。救急医療から高度専門医療、母と子を守る医療まで、皆さんに寄り添い、共に歩むパートナーでありたいと考えています。

これからも、地域の皆さんにとって身近で頼れる病院を目指してまいります。

小松市民病院  
病院長 新多 寿さん



## 母と子を守る小児・周産期医療

通常のお産だけではなくハイリスクなお産にも対応しており、産婦人科医、小児科医、助産師、看護師が力を合わせ、お母さんと新生児にとって安全で安心な出産に取り組んでいます。



### 1 小児医療

4人の医師が健康状態の変わりやすい新生児の状況を把握し、適切なケアを提供できる体制を整えています。

### 2 周産期医療

合併症のある人も他科と連携して妊娠・分娩管理を行っています。産婦人科救急ホットラインにより、妊娠中から産後まで緊急事態に迅速に対応できます。



## チーム医療の要を担う看護師

入院中の療養生活を支援するため、病状などに応じて多職種の職員がチームとなってケアをしています。看護師は患者により身近に関わり、チーム医療の核を担っています。

### 1 セル看護提供方式®

看護師が患者とより関わることを目的に、主に病室内で看護をしています。対話しやすい環境づくりはもちろん、他の医療従事者とも密接に話をする事で情報共有ができ、安全・安心な療養生活につなげています。



### 2 認定看護師の果たす重要性

看護師のスペシャリストとして、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる「認定看護師」が15人います。市民向けの出前講座や、地域の医療機関向けに看護の質を向上させるための研修を行っています。



## 充実した専門医療

専門医療とは、脳、心臓、肝臓、腎臓など各臓器に特化した専門家(専門医)により行われる医療のことを言います。高度な専門知識・技術を習得した医師により、難易度の高い治療にも対応できる医療体制を備えています。



### 1 手術支援ロボット「ダヴィンチ」の活用

2月に手術支援ロボット「ダヴィンチ Xi」を導入しました。人の手より精密な動きができ、患者の身体への負担を軽減できます。現在は結腸がん、直腸がんの手術を行っており、今年度中に前立腺がん・肺がんの手術を開始します。



### 2 がん治療を支える様々な取り組み



#### 無菌治療ユニット

高い清浄度を保つ専用の空調設備により、安心して血液疾患の治療を受けることができます。

#### 放射線治療

最先端の医療機器を導入し、身体への負担を最小限に抑えた効率的な治療を提供しています。

#### 化学療法

医師、薬剤師、看護師がチームとなり、抗がん剤治療の苦痛を軽減する体制を整えています。

### 3 特定の病気・疾患に対応する専門外来

#### 認知症「もの忘れほっとけん外来」

「少し前にしたことが思い出せない」「食べたことや約束・予定を忘れてしまう」などを感じた人や家族には、専門医が診断・治療を行います。



#### 頭痛外来

何年も頭痛で悩み、市販薬を服用しても効果がなく困っている人は受診してください。



#### 禁煙外来

たばこを止めたいけどなかなか止められない人に、診察・アドバイス・薬の処方により、禁煙を実現します。



#### 女性泌尿器科外来

排尿と外陰部の問題に悩んでいる女性に、専門医が診療を行います。

